



在日フィリピン人児童のための漢字教材

Ang Kanji ay Kaibigan

アン カンジ アイ カイビーガン

80
Kanjis



1年生
配当漢字

東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター

この教材はインターネットから無料でダウンロードできます
Libreng nadodownload ang kagamitan sa pagtuturo sa sumusunod na website.

<http://www.tufs.ac.jp/common/mlmc/kyouzai/philippines/>

アン カンジ アイ カイビーガン Ang KANJI ay Kaibigan 80 kanjis

Ang KANJI ay Kaibigan 80 kanjis は、イラストを豊富に取り入れて、漢字が苦手な子どもが一年生配当漢字を負担少なく楽しく学習できるよう工夫した教材です。

漢字学習の入門教材を終えた子どもたちの反復・発展練習としても、お使いいただけます。楽しみながら進めてください。子どもが「漢字学習は楽しい！」という気持ちを持てば、学習も進むことでしょう。

タイトルの意味

本教材のタイトル「Ang KANJI ay Kaibigan (アン・カンジ・アイ・カイビーガン)」は「漢字はともだち」という意味のフィリピン(タガログ)語です。現在日本の小学校では多くのフィリピン人児童が学んでいますが、多くの子どもが漢字学習に困難を感じています。少しでも負担少なく楽しく学習することによって、漢字に興味を持ち、「漢字と仲良し」になってほしいという気持ちをこめてこのタイトルをつけました。

本教材の特長

1. 豊富なイラスト

実際の現象と文字が頭の中でうまく結びつかないと、会話力と読み書き能力のアンバランスを引き起こします。そこで漢字の意味、文の意味を視覚から捉えられるようイラストを豊富に取り入れました。

2. 基本文型と生活で使う語彙で理解を促進

練習問題では生活範囲内の語彙と基本文型を使い、子どもが漢字学習に集中できるよう配慮しました。やさしい文を数多く読むことは、日本語力の向上にもつながります。

3. 文を読んで漢字を覚える

非漢字圏の文字が表音文字からなるのに対して、一つ一つ意味を持つ漢字は表意文字です。子どもたちが「カタチ」としての漢字を覚えるだけでなく、その意味をきちんと理解できるように、読み練習を多くしました。

4. 「一つの文字に対して一つの読み方」を原則

漢字学習の難しい点は「一つの文字に対して多くの読み方がある」ことです。漢字学習になれていない子どもに対して、一度に複数の読み方を提出すると大きな混乱を招きますので、本教材では「一つの課では一漢字に対して一つの読み方」を原則としました。

5. 漢字の組み立てを理解する

漢字の部分や部首を意識させる練習問題によって、漢字がパーツでできていることを知ってもらう工夫をしました。

6. 英語・フィリピン(タガログ)語訳の挿入

まだ日本語習熟度の低い子どもたちが活用したり、保護者とともに家でも学習できるよう、漢字の意味や問題文に英語・フィリピン語訳をつけました。

7. 日本の習慣や風土を紹介

外国から来たばかりの子どもにとっては、日本での生活は不思議なことだらけです。日本人にとっては当たり前のことを本教材での学習を通して学べるような工夫もしました。

指導される方へ

子どもは、すぐに言葉を覚えるといいますが、外国語、とくに異なった文字を使っでの学習は、子どもにとっても、大きな困難を伴うものです。日常会話は聞いてわかるけれど、それを文字化することは苦手という子どもたちが少なくありません。以下は非漢字圏から来た子どもたちが漢字を学ぶプロセスです。

非漢字圏から来た子どもたちが漢字を学ぶプロセス

①漢字の形を見分けることができる

まったく初めて見る文字ですから、まず見分けて、特定できるようになることが必要です。



②一つ一つの文字が意味をもっていることが理解できる

非漢字圏の文字は表音文字です。これに対し、漢字は一つずつが意味をもっている表意文字です。初めて漢字を学ぶ子どもたちにとっては、その機能を理解することが、学習の第一歩です。



③読み方が異なっても基本的意味は変わらないことが理解できる

上(うえ)・下(した)という語で導入した漢字が「上がる・下がる」という語となっても、「上」「下」というもとの意味は変わりません。多くの語に出会うことで、漢字の機能が理解できるようになります。



④2つ以上の漢字で成り立っている熟語の意味を類推することができる

入る・入口・進入など、「入」の字は、まったく異なった読み方で読まれても、「入る」「口」「進む」という意味がイメージできれば、二つ以上の漢字の熟語の意味を類推できます。

本教材の構成

【各課の内容】

1. あたらしい かん字 （提出のページ）

新出漢字は単語として提出し、英語・フィリピン（タガログ）語の意味とイラストをつけました。一つの文字に意味があることの意味を図ります。身の回りに実物があれば、それを示し、頭の中で物と文字がつながるようにしてください。

2. よめるかな？ （読み練習のページ）

各課の1ページ目で学んだ漢字のよみを確認します。ひらがなで読みがなを書いた後は、声に出して読んでみましょう。

3. かけるかな？ （書き練習のページ）

漢字には、決まった書き順があります。書き順に従って練習することは、将来辞書使用を容易にします。最初は、できるだけ正確な書き順に従うほうがよいでしょう。しかし、あまり厳格に指導すると、漢字学習の楽しさが半減するので、まず形が書けることを目標にして、書けたらほめてあげてください。

4. よんでみよう！かいてみよう！（定着のページ）

前ページで学んだ漢字の意味を、短文の中で確認します。まず、文を読んで、漢字の読みがなをかきます。その後、ひらがなを漢字に直します。正解が確認できたら、意味を確認してください。更に、指導者の方が声を出して文を読み、その後を子どもに繰り返させてください。音読をすることで、確実に日本語力が上がります。

5. よめるよ！かけるよ！（発展練習のページ）

既習漢字の総合練習です。今まで学習した漢字を、読み書き両面から練習します。わからなかったら、「ぱっとみじてん」を参照してください。課を進めるごとに、繰り返し練習することができます。楽しいという気持ちを大切にしてください。

【復習問題】

漢字の読み書きの定着を図るため、5課毎に復習問題があります。学んだことがきちんと定着しているかを確認するために活用してください。

【ぱっとみじてん】

学習する漢字を五十音順で一覧にしたものです。イラストや翻訳もついています。

【かるた】（別紙）

学習する漢字のイラスト、読みがな、漢字をかるたの形にしました。プリントアウトし、厚紙等で補強した上で、活用してください。

その他指導のヒント

・漢字を書きたがらない子どもには楽しいタスクを

見慣れない文字を書き写すことは、だれにとっても難しいことです。漢字を書くことの難しさと学習意欲を失ってしまう場合も少なくありません。書くことが楽しめない子どもには無理に書かせず、カード作りなど、何か別の楽しめるタスクを与えて、楽しく書くきっかけ作りをしてみてください。逆に最初から書きたがる子どもには、どんどん書かせてください。形の認識の助けになります。

・送り仮名と一緒に書かせる

漢字を学びはじめて日が浅い子どもには、漢字だけの練習ではなく、必ず送り仮名といっしょに書かせてください。日本語の表記は漢字、ひらがな、カタカナが必要に応じて使い分けられていることを自然に理解してもらうためです。

・複数の読み方の指導は慎重に

本教材では一つの課においては一つの漢字に対して一つの読み方しか提出していません。それは漢字学習になれない子どもたちに混乱を招かないようにするためです。他の読み方を教えるときは、ある程度漢字学習に慣れてきた段階になるべく身近で耳慣れた言葉を使って指導してください。

(例) 「上(うえ)」「下(した)」→上る、下る、「日(ひ)」→日ようび など。

・楽しみながら学習を

難しい漢字学習を継続させるためには、楽しみながら学習を進めることがとても大切です。子ども自身が「漢字学習は楽しいもの!」という気持ちを持てるように工夫してください。

・他の教材との組み合わせで効果アップ

本教材は、読み方の提示を一つにするなど、教科で学ぶ漢字学習をカバーできていない部分もあります。本教材と平行して他の教材を使う、復習用として本教材を活用するなど、現場の状況に応じてご利用ください。

では、たのしい漢字学習を!

漢数字の書き方について

漢数字は原則、縦書きで用いられますが、本書は横書きで構成されているため、漢数字を横書きで提示している箇所があります。予め御了承下さい。

アン カンジ アイ カイビーガン
Ang KANJI ay Kaibigan 80 kanjis もくじ

〈本編〉

1	一	二	三	四	五	P.1
2	六	七	八	九	十	P.6
3	上	下	中			P.12
4	山	川	火	水		P.18
5	木	林	森			P.23
6	口	目	耳	手		P.29
7	虫	石	足	糸		P.34
8	田	力	男	女		P.40
9	大きい	小さい	犬	王		P.46
10	人	車	村	町		P.52
11	先	生	年	名		P.57
12	子	字	学	校		P.63
13	日	月	夕	早い		P.69
14	赤	青	白	花		P.75
15	入ります	出ます	立ちます	休みます		P.80
16	左	右	見ます	貝		P.86
17	百	千	円	玉	金	P.91
18	草	土	竹	音		P.97
19	正しい	文	本			P.103
20	天	気	雨	空		P.109

〈付録〉

1 から 5 までのふくしゅう	5課までの学習が終わったらやりましょう。	P.115
1 から 10 までのふくしゅう	10課までの学習が終わったらやりましょう。	P.117
1 から 15 までのふくしゅう	15課までの学習が終わったらやりましょう。	P.119
1 から 20 までのふくしゅう	20課までの学習が終わったらやりましょう。	P.121
ぱっとみじてん 80 (総合索引)	本教材で提出した漢字が一目で探せます。	P.124
かるた 80 kanjis	本教材に準じたかるたです。	別紙